

広報

ここのえ

町田パーネット牧場のコスモス畑。

昨年撮影したのですが、表紙で紹介したいと思
い、ずっと時期を待っていました。

この広報が出る頃がちょうど見頃かもしれません。



もくじ

さあ、本を手にとり 2	ふれあい福祉 16
朝の読み聞かせ 3	いつまでもお元気で 17
読書サークル 7	環境 18
図書館だより 8	住基ネット本格稼働 19
「星生山の星太郎」結団式 9	教育委員会だより 20
玖珠郡合併協議会 10	まちの話題／交通 21
交流農業03 12	くらしの情報 22
めざせ西日本ブルーベリー 13	人権／当番 24
農業委員会だより 14	歳時記／時間旅行 25
保健 15	人の動きふれあいタイム 26

2003 10 月号

No. 569 <http://www.town.kokonoe.oita.jp/>



3ページ



5ページ



11ページ



12ページ



13ページ

さあ、本を手に



▲読み聞かせを楽しむ近田美香さん(中央2)親子(下段記事参照)

各地で広まる

子どもと本をめぐる取り組み

ブックスタート。はじめて聞く人も多いと思います。これは、保健センターなどで行われる0歳児の健診の際に、すべての赤ちゃんと保護者にメッセージを伝えながら絵本を手渡す運動です。

赤ちゃんの心の成長を促すだけでなく、親にとってもかけがえのないひとときを過ごすのを応援しようというものです。

この運動が始まったのがイギリス。一九九二年のことです。その後、調査が行われ、ブックスタート経験者の方が小学校入学時の基礎テストの成績が良かった、という報告がなされています。何よりも効果があったこと、それは本を通じてのコミュニケーションがブックスタート経験者の方が圧倒的に高いことです。今では、イギリスの92%の地域がブックスタート運動に取り組んでいます。

日本でも二〇〇一年頃から取り組む自治体が増え始め、今年6月末現在では全国で四百十九自治体(うち大分県内は湯布院町などの

4自治体。九重町は未実施)にまで広がっています。

その一方で、本の読み聞かせが静かな広がりを見せています。難しい技術は要りません。子どもが読んでほしいという本をただゆっくりと、そしてともに楽しみながら読むだけです。ただし、何が書いてあったかなどのテストは抜きに。子どもは読み聞かせが大好きです。大人だって大好きです。毎日本を読んであげ、一緒に楽しい時間を過ごすことが、子ども達の考える力や優しい気持ち・思いやりを育てていきます。

さあ、本を手に

「心を大きくするには限界がない。涙を流す練習をしないと、本当に起こったつらさを乗り越えられない」。

先日、九重文化センターで行われた、読み聞かせ講習会での講師・中川良孝さんの言葉です(このページ下段の記事参照)。本は知らないうちに大きな力を子どもに与えます。そして大人にも。次の言葉は、永六輔さんです。

「親は子どもに本を読んでもらいたい。読んでいる姿を見ると感動するが、親だけの感動にしているといけない。子どもにとって親が本を読んでいる姿が、いかに誇らしいか……」(「読めば読むほど」永六輔他著・くもん出版より、図書館にあります)。

本は無限の力を秘めています。子どもだけでなく、大人も本を手に。忙しい毎日ですが、隙間時間、を利用すればけっこう読めます。今月は、九重町で現在進行形の本にまつわる話を集めてみました。

読み聞かせ

講習会

読み聞かせ講習会が8月10日、九重文化センターで行われました。玖珠郡図書館協議会と教育委員会が共催したもので、講師に中川良孝さんをお迎えしました。

中川さんは、30年近く学習雑誌や児童書・絵本の編集にたずさわる傍ら、本好きの子どもを育てようと、「おもしろ本読み会」などの活動をしていきます。

講習会はず、中川さんの読み聞かせ実演でスタート。

この日は、楽しいものからちよつと考えさせられるものまで、何冊かの絵本を紹介。中川さんの読み聞かせに会場の子どもや大人たちは、すっかり夢中になっていました。

「子どもの目の高さまで視線を低くして、子どもと大人が、大事なことを共有できる場所を作ることが大切です」と中川さんは話していました。

この日は、子どもと読書を巡る状況・読書の意義などについての講演も行われました。



次のページはどんな話し？

飯田小学校で始まった「朝の読み聞かせ」



「朝の読み聞かせ」の風景です。飯田小学校で今年から始まった。朝の読み聞かせの風景です。いつもはにぎやかな教室が、この時ばかりはシーンと静まりかえっています。聞こえてくるのは、教室にたったひとり、本を読む人の声だけ。

児童の保護者が約10分間、絵本などを読み聞かせるもので現在月3回開催されています。「あつという間に子ども達は本の世界に入っていくんです。この時間帯は学校中が静かです。でもこの静けさは全然不自然で



飯田小学校は本にまつわる学校づくりが進んでいます。立花さんは続けます。「学校では1年間に百冊の本を読みましょう、と言っているんですよ。軽く突破しそうです。中には1学期だけで百冊越えた子どももたくさんいます。」

飯田小学校では、ふたつの図書館の他に階段の踊り場を利用するなどして、合計5カ所、子ども達が本に親しめる場所をつくっています。町の図書館とのネットワークもよくとれています。こういった環境を整える上で学



校司書の存在が大きいと立花さんは指摘します。「司書がいるおかげで、こんな本どこにあるの？といった質問にすぐ答えることができます。本の整理も行き届き、本が取り出しやすい。」

そして保護者の存在。「このお母さんたちの意識がすごく高いなあ、と思います。学校司書・保護者のネットワークがうまくいっているのも子ども達が本に親しむのにつながっていますね。」

「読み聞かせ」をする側は保護者のみなさんです。学校の呼びかけに応え集まったのが10数名。この日は、お母さんばかりですが次回からはお父さんも登場です。みなさんとても上手に本を読みます。

「絵本は平仮名ばかりだから、どこで区切って良いかわからないので何度も練習します」と保護者のひとりも笑います。何よりもうれしいのは子ども達の反応だ、とみなさんは話します。

「最初はおとなしく聞いてくれるか不安だったんですが、目が釘付けというのがうれしいです。読み聞かせの日が来るのが楽しみです。」

「下校中におばちゃんありがとう、って言ってくれたんですね。それがものすごくうれしか



▲階段の踊り場にある図書コーナー

つたです」という声も。

本は、保護者のみなさんが自分で選んでいます。絵本が中心になります。

「図書館に本を選びに行くついでに、自分の本も選ぶようになり、読書量も増えました。」

読み聞かせが終わった後は、保護者が集まり、その日の子ども達の様子などを出し合います（写真▼）。

とても楽しそうな雰囲気には耳を傾けてみると、「最近の絵本は昔、昔、あるところに……の出だしで始まるものが少なくなっているね」とか「偉人伝とかを日常の中で目や耳にする機会が少なくなっているのかなあ」（今度、スーホーの白い馬を読んでみたいけど長いからなあ）とにぎやかな会話が聞こえてきます。随所に子育てをしていく上のヒ



ントが隠されているようです。地域と学校で繰り広げる本を通じた子育て。次のページはどんな話し？子ども達は楽しみに待っています。



大切なものを伝える作業

野上小学校での「朝の読み聞かせ」



「わあー、なつかしい！」

昔読んだ絵本に再会して、武藤吟子さん（南区）が思わず声をあげます。武藤さんは野上小学校で毎週行われている「朝の読み聞かせ」ボランティアをしています。武藤さんが本に親しむきっかけは小学校5年生の頃、担任の先生が朗読などで本の楽しさを教えてくれたことでした。教室中に読書の楽しさがあふれていました。今度は自分が子ども達に伝えたい、と武藤さんは読み聞かせボランティアを始めました。

野上小学校で「読み聞かせ」

が始まったのは去年。武石丸美さん（寺田）・鶴原時美さん（下尾本）、そして学校司書の桑野さんの3人で始めました。それが保護者の間、地域に少しずつ広がっていき、今では、13人が集まるまでになりました。そのうち（保護者としてではなく）地域から参加しているのは4人、みなさん時間をやりくりしながらの参加です。今回初めて参加の森照代さん（中央1）もそのひとり。

「子どもが大好きだし、楽しいよ、と聞いてがんばってみようと思えました。」

森さん自身も本をめぐる思い出がいくつもあります。とりわけ自分のお子さんに「読み聞かせ」したことは良い思い出になっています。

「子どもがせがむんですよね。仕事が忙しい時期だったので、半分眠りながら読んでましたね。今では、お子さんから「こんな本がいいよ」とすすめられることもあります。」

森さんがこのボランティアに参加してみたいと思ったのが、若いお母さんたちのがらみ。若くは「みなさん自分自身の意見をしっかりと持っており、きちんと言う。すばらしいと思います。」

9月26日、10月以降の担当学年を決める話が行われています。各学年の情報交換などを交えな

がら、空欄となっている担当欄が次々に埋まっていきます（写真1）。笑いが絶えず、和やかな雰囲気です。

その中のひとり梅木裕美さん（西）に話を聞きました。梅木さんも、お子さんが小さな頃から読み聞かせをしていたといいます。梅木さんが出来ないときは夫の邦隆さんが代わりにしていました。

「読み聞かせ」を続けてきて、人の話をきちんと聞ける子になったのが、親としてもとてもうれしかったです。本のおかげでとてもかわいいたちも育っていると思います。子どもって、大人が思いつかないようなことを突然言ったりするじゃないですか。それを聞いて、こちらもグツとくる（感動する）ことがよくあります。」



▲写真1



10月2日、2学期初めての「読み聞かせ」が行われました。各教室で、思い思いのスタイルで「読み聞かせ」が進んでいます。共通しているのは、子ども達の「夢中な視線」と「教室を包む一体感」。

「読み聞かせ」の効果は学校中に広がっています。こんな声を聞きました。

「読み聞かせ」を始めた頃は、途中で席を立つ子がいたりしましたが、今はそんなことはありません。子ども全体が落ち着いたなあ、と思います。」

「読み聞かせ」があることで、次の授業にすんなりつながっていくと、先生にも好評です。もちろん、本好きの子どもが増えています。」

その一方で、ボランティア参加者に共通の悩みが、ひとり

こううち明けます。「朝一番なので、主婦としてはあわただしいです。でも家族が協力してくれるし、「読み聞かせ」が終わった後は、がんばって良かったなあ、と充実した気持ちになります。」

練習をいい加減にしたり、今日はなんか気分が乗らないなあ、と思って臨むと、子どもにはわかるらしいです。

「だからいつも緊張感が必要なんです。目にさらされるので、ダイエットにいいかも（笑）」。

この日初めて「読み聞かせ」に参加した森照代さんの手元には「きいろいばけつ」という一冊の本が、森さんのお子さんが小さい頃、よく読み聞かせをしていた本です。「とってもいい話なので、ぜひ紹介したいと思って」と森さん。

一匹の子ぎつねのバケツがほしくてたまらない様子が描かれています。その一途さが胸を打ちます。何かを好きになるって、なんて素敵なことなんだろう。そんなことを感じる本です。

ほしいものが何でも簡単に手に入る現代ですが、本当に大切なものは、この子ぎつねみたいになかなか手に入るものではありません。

本当に大切なもの。本を通じて伝える作業がここでも続いています。

小さな積み重ねが大きな財産に

各学校で広がる “朝の読書”

野矢小学校の取り組み

今、全国の学校で急速に広がっている取り組みがあります。それが朝の読書です。全国で一万四千校以上が取り組んでいます。これは、始業前の10分間、「みんなでやる」「毎日やる」「好きな本でよい」「ただ読むだけ」を四原則に行われるもので、評価や競争を求めないスタイルが子ども達に受け入れられているようです。

この取り組みでどんな効果が出ているのでしょうか。

まず①本の楽しさを知ることです。読書嫌いの子どもも、ごく自然に読書が好きになっていきます。そして②本を読むことは数多くの人間の生き方や考え、方・体験に接することになり、想像力・思考力・読書力などがつき人間としての成長につながります。このほかに③漢字や言葉を知ることができ、表現力がつくなどの学習効果も出てきます。

九重町では、週3回のペースの朝の読書運動をしている学校があります。野矢小学校です。

この学校に入っても驚くのが、図書室の位置。普通、学校の図書室は奥まったところにあることが多いですが、この学校では玄関を入ってすぐのホールに隣接してあります。冬期以外は開放されており、休み時間などに子どもが気軽に本を手にとることができます。

「一緒に下校する友だちや兄弟を、ここで本を読みながら待つ光景はよく見られますよ」と先生の一人は話していました。朝の読書運動が全国的に進んでいくにつれ、課題も明らかになってきました。本の不足です。しかし、野矢小学校をはじめとした町内の学校については、町の図書館や県立図書館などの連携が取れており、本の不足、という事態は避けられているようです。



聞こえてくるのは、ページをめくる音と、虫の鳴き声など季節の自然の音だけ。静かで想像的な15分間が過ぎていきます。

日常の中で、自然の音を聞きながら、静かな時間を過ごすというのは案外少ないものです。朝の読書運動、子ども達の季節感を記憶の奥底に植え付ける役目もあるのかもしれませんが。

淮園小学校の取り組み

朝の読書は、始業前の10分間、「みんなでやる」「毎日やる」「好きな本でよい」「ただ読むだけ」を四原則に行われます。淮園小学校では、この原則どおり、3年ほど前から朝の読書運動に取り組んでいます。

淮園小学校の朝は、他の学校同様、登校してきた子ども達のにぎやかな声であふれています。

教室からだけでなく、図書室からも声が聞こえてきます。気軽に本にふれる機会を、と児童玄関脇に作られた図書室は朝からにぎやかです。中に入ってみると、子ども達がさっそく本を借りています。畳敷きのコーナ



朝からにぎやかな図書室

ーに寝転がって、本を読んでいる子どもも。

始業の8時30分が近づくと子ども達は次々に教室に入っていきます。始業ベル前から、全員が本を開いている教室もありました。

記事用の写真を撮るため、教室に入り、次々にカメラを向けますが、チャラツとこちらを見るぐらいで、すぐ本の世界に戻っていきます。これは、先述の野矢小学校でも同様。子ども達は本のおもしろさを存分に味わっている様子です。

「朝の落ち着きが出てきましたね。おかげで、1時間目の授業にすんなり入ることが出来る

も達の成長を見ました。

「中には1年間に三百冊以上読む子もいました。本には、いろいろなことが書いてあるじゃないですか。それにふれることで、与えられるのではなく、自分自身で心を育むことができます。ようになっていきたいと思います。」

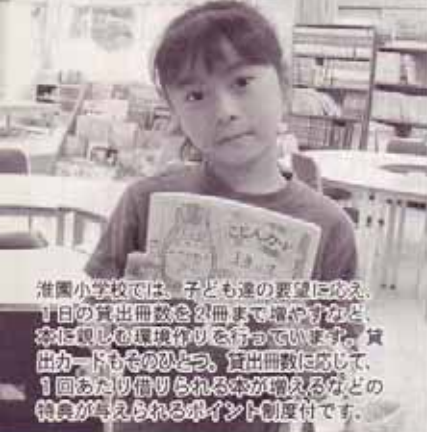
本人は気づかないかもしれないけど、そばから見ていて、そんなことを感じました。これが6年間続けられるってすばらしいことだと思えます。

毎朝10分間の積み重ねが、子ども達の心の成長にかけがえのない恵みを与えています。ところで、心の成長は無量大



低学年には読み聞かせをします。

朝8時30分。始業の音楽が流れると、子ども達は一斉に教室へ。それまでにぎやかだった学校は一転、静かになります。



淮園小学校では、子ども達の要望に応え、10日の貸出冊数を4冊まで増やすと、本に親しい環境作りを行っています。貸出カードもそのひとつ。貸出冊数に応じて、1回あたり借りられる本が増えるなどの特典が与えられるポイント制度です。

しあわせの本棚 ～小城富美代さん



本好きの人に共通の楽しみがあります。

本棚に並んだ、これまで読んできた本の背表紙を眺めることです。

それは、自分自身の歴史を振り返ることもあるし、思い出しに漫ることの出来る豊かな時間といえます。

「家の隅に、そんな場所を作りたいですね」と話すのは小城富美代さん（口の園）。その本棚にはたくさんさんの絵本が並んでいるはずですが、それは、小城さんと、お子さんが築いてきた幸せな月日の記録でもあります。

広報で本に関する記事を集めようと思っていたとき、行き当たったのか小城さん。たまたま図書館での取材中、小城さんが本をたくさん借りているのを見かけました。話しかけてみると、二人のお子さんに読み聞かせをしていたそうです。さっそく話を聞いてみました。

「読み聞かせと言っても、子どもを捕まえて、今日から始めるというのじゃなくて、自然に始まったんですよ。」
本好きの子どもにするにはどうしたら良いのか。幾度となく考えられてきたことですが、読み聞かせが大きな効果があるらしいとされています。ただし、無

理矢理ではなく、子どもが読みたい本をただ読んであげること。そして、本がいつも身近にある環境が必要です。昔から本が好きだったという小城さんの身の回りにも本がたくさんあります。

「子どもの頃、祖父や母が歴史や歴史上の人物のこととかを語ってくれたんですよ。もちろん、みんな忙しいから、わざわざ、というのではなく日常の中でさりげなくという感じでした。だんだん子どもながらに歴史に興味を持ち始めて。それが本に向き合うきっかけだったかなあと思います。」

本に親しんできたことは自身にとつて大きな財産になっていると小城さんは話します。「（読み聞かせは）別に意図して始めたわけではありませんが、読書を通じて自分を作っていくことを伝えたい、というのもあったかもしれないですね。まあ、私自身の喜びであり、楽しみだったというのが大きいんですけどね」と笑います。

読み聞かせの思い出はいくつもあります。「3歳か4歳頃だったかなあ、娘に童話を読んで聞かせていたら、かわいそうねえ」と言っていて感動して泣き出したことがあるんですよ。」

できました。親と子の一体感も高まっています。いつしか、お子さんたちも本好きに。特に「本だけは惜しまずに買って読んだことに感謝している」という長女的美紀さん（現在大学生）もけっこう読書好きで、今では反対に本を紹介されるまでになりました。

「今は、子どもから紹介された本を追いかけて読むのが楽しいですね。」

時々、昔読んだ絵本の話が親子の話題に。

「小さい頃これを読んでくれたねと言ってくれるのがうれしい。今でも本屋さんに行くとき子どもを眺めていると、これ読んであげたなあ、とか思い出します。それがとつてもうれしかったりするんですよ。」

例えば、「おすすめ絵本リスト」などを眺めていると、昔とほとんど変わっていないことに気づきます。子どもの感性は流行に左右されない、と言うことでしょうか。だからこそ、絵本を通して、子どもに大事なものを伝えやすいのかもしれない。内容だけでなく、絵本を通じた親の願いや思いは、言葉を超えて子どもに伝わっていくものかもしれません。小城さんこう話します。

子ども達との会話が言われませんが、絵本を読んであげること、会話が出来るんですよ。

本を読むことのすばらしさは子どもだけのことではありません。大人にだって言えます。このすばらしさを一人でも多くの人に伝えたい、そう考える小城さんは10年来の夢があります。朗読ボランティアです。目の不自由な方に小説などの楽しさを味わってもらいたい、練習をしています。「まだまだ自主トレニングの段階です」と笑いますが、夢の実現に向けて着実に進んでいるようです。最近紙芝居の練習も始めました。

「朗読ボランティアをするためには、自分自身もいろいろな知識を持っていなければならぬんですよ。だからこれからは、皆さんの本を読んでいきたいと思っています。」

小城さんの本棚に日々、積み重なっていく本。それは夢を積み重ねる作業でもあります。



小城富美代さんは、朗読ボランティアとして、毎月20日に開催される「おはなこ」の朗読会に参加しています。写真：小島 珠

児童館へ行こう！

「子どもと本」で、忘れてはならないのが、児童館。九重町保健福祉センター内にあるこの施設、「気軽に利用できて安全。子ども達も喜んでいきます」と利用者にも大変好評です。

ここでは、子どもの健全やかな成長を応援するため、遊具が充実しているだけでなく、千四百冊以上の本、約二百本のビデオなどもあり無料で貸し出しをしています。

特に絵本が充実している、と好評で、「今後増やしていきたい」と児童館の運営を担当している甲斐旬子さん（児童館厚生員）は話していました。ところで、子どもに本を与えるとき、どんなものを選んでいいか迷うことはありませんか？ そんなときも大丈夫。甲斐さんが子どもに合った本を紹介してくれます。

開館時間は平日及び第2・第3・第4土曜日の午前8時半から午後5時まで。利用料金は無料です。

ただし、子どもを預かる施設ではありませんので、幼稚園までの子どもは必ず保護者同伴でお願いします。

さあ、児童館へ行こう！



古典文学講座



▲左から佐藤陽子さん・佐竹安子さん

農民研修センターで毎月1回、古典文学講座が開かれています。講師は嶋田裕雄さん。毎回15名ほどが集まり、古典文学に親んでいます。最近

いにしへの日本に思いをはせて

のテキストは万葉集。現存する最古の歌集で、今から千二百年以上前に編まれました。しかし「昔も今も人の気持ちと同じですね」と参加者のみなさん。

この教室に通い初めて2回目の人がいました。佐藤陽子さん（中央3）と佐竹安子さん（中央2）です。二人は、日田第一高等学校（現在の日田高）の同級生でした。こう話します。

「学生時代は、戦時中。勤労奉仕ばかりで勉強する時間

がなかったんですよ。古典を勉強することだけでなく、高校時代に帰ったような気持ちです。それに嶋田先生の自然に対する造詣の深い話がいいです。先生の自然を守る活動に共鳴しています。」

講座のはじめに出てくる、自然についての嶋田さんの話しも楽しみのひとつ。時には外に出かけ、自然散策の課外授業もあります。

古典と自然。「変わらないことの豊かさ」を感じるひとときです。



読書サークル



▲講師の佐藤源八さん

九重文化センターでは月2回、読書サークルが開催されています。参加者は10人で、テキストは方丈記。鎌倉初期（一二二二年）の随筆で、作者は鴨長明。講義時間は約2時間。テキスト解説が中心ですが、「書いてあること」と「現在に起こっていること」を照らし合わせながら進むので、より深い理解につながります。

「描かれているのは古い世界だけど、今の世界にも当ては

まることが多い」とみなさんは口をそろえます。

また、ゆったりとしたペースですすめられることも、内容を深く読みとることもつながっています。日本語のおもしろさや美しさを再認識することも多いようです。

「いろいろなことに振り回されている普段の生活の中で、古い世界にふれることで心が豊かになります」と参加者の一人。

古典の効能多し、です。



ゆったりした世界でリフレッシュ

かぶきはともだち

- 第1部 歌舞伎に親しむ「歌舞伎の美」
解説＝中村又之助
- 第2部 歌舞伎名作舞踊「助六」
出演 中村又之助 中村又一 ほか
- 第3部 歌舞伎「あんまと泥棒」※味のある笑いが随所にあふれています



11月18日(火) 九重文化センター
6:30 開場 7:00 開演
入場料 2,000 円(当日券は2,500円)

こんな本も図書館に入っています

石山俊彦著
演劇出版社／一般
楽屋のれん

人間国宝から20代の花形まで、多彩な歌舞伎俳優の顔ぶれと、文楽人形遣いの最高峰や清元節の若き家元を加えた個性溢れる39人が、芸について、日々の生き方について語る。



図書館だより

ほんの森
10月号

10月27日(月)～11月9日(日)は《第57回読書週間》です。
今年の標語『ありますか？好きだといえる1冊が…』

この間、何かの本に、『自殺しようとして考えていた女の子が、幼い頃読んだ1冊の絵本によって救われ、自殺を思いとどまった』という実話が載っていました。
誰もがそんな本に出会えるとは限りませんが、私たちの人生にはまだまだたくさんの本と出会う機会があります。目の前を通り過ぎるだけでなく、手にとって読んでみてください。
あなたにとっての「特別な1冊」がそこにあるかもしれません。

図書館開館時間
平日 10:00～18:00
土・日 9:00～17:00
月・祝 休み

新着本

ともだち

『ともだち』



谷川俊太郎・文 和田 誠・
絵/玉川大学出版部/児童～

—ともだちって カゼがうつってもへいきだっ
ていてくれるひと—
—ともだちって そばにいないときにも いま
どうしてるかなって おもいだすひと—

谷川俊太郎のやさしいことばと和田誠のやわらかい絵が、しみじみと心に染みてくる絵本。

誰だって1人では生きてゆけない、ともだちってやっぱりいいなと、改めて感じさせられます。子どもだけでなく、大人にも読んでもらいたい1冊です。

『デッドエンドの思い出』

よしもとばなな/文藝春秋/一般

—これまで書いた自分の作品の中で、いちばん
好きです。これが書けたので、小説家になってよ
かったと思いました—と、表題作「デッドエンド
の思い出」について語った著者。

大切な人との出会い、別れ、日々の暮らし、辛い
こと、切ない思い…。日常の瞬間を鮮やかに描いた5つのラブス
トリーは、読者の心をふるわせます。秋の夜にびったりの短編
集、特に女性にあすめです。



『うらやましい人 ベストエッセイ集03年版』

文藝春秋/一般

毎年出版される「ベスト・エッセイ集」。2003
年版が入荷しました。富や名前にこだわらず、植
物学に人生を捧げた学者の生き方にふれた表題作
「うらやましい人」をはじめ66人・66編の傑
作エッセイが収められています。それぞれの人生

の一コマに、思わずゾーン。思わずニヤリ。思わずホッ。さまざま
な感情を味わうことのできる本です。

『男の戸籍をください』

虎井まさ衛/毎日新聞社/一般

みなさんは「性同一性障害」という病気をご存
知でしょうか。「3年B組金八先生」を見て初め
て知ったという方も多いかもしれません。この本
の著者は、そのドラマの中で、上戸彩が演じた性同一性障害の生徒の
モデルです。女で生まれて、男の戸籍になるまで。法と偏見の壁との
闘いは今も続いています。



『旅の指さし会話帳』1～10

八十浜玲子/情報センター出版局/一般

「海外旅行は言葉に自信がないからちょっと…」そんな人にぜひ使
ってほしいのがこの本。

うれしいことに、すべての単語・文章に「読みガナ」がふってあり
ます。「日本人が発音した時にできる限り通じやすいこと」を念頭に
作っているので、安心して発音できそうです。

著者いわく「恥かかずに大きな声でしゃべること！」早速本を
開いてみてください、あなたもだんだん海外旅行に行きたくなくなる!?
旅のお役立ち本決定版!

★タイ・香港・中国・韓国・イタリア・アメリカ 他 シリー
ズ10冊★

新着本 続々

少年カフカ

疾走

星々の舟

天使の爪 上・下

銀の血に金の林檎を

またたび

マリコの食卓

バビーウォーカー

中継されなかったバクダッド

いつでもどこでも手話ソング①～③

村上春樹

重松 清

村山由佳

大沢在昌

大道珠貴

さくらももこ

林真理子

石黒謙吾

山本美香

こどもくらぶ

図書館へ
行こう！



今回の記事の中で
も何回か出てきた九
重町図書館。九重町
の本事情を語る上で
重要な施設です。

図書館がオープンしたのが平成11年。

館内には自然光がふんだんに降り注ぐよ
う設計されており、随所にあるソファア
も大変座り心地が良く、利用者からは「明
るくて、きれいな。本を読むには絶好の環
境」と好評です。現在の蔵書数は約2万
冊。そのうち約6千冊は児童書関係にな
っています。また、本だけでなく、ビデ
オの貸出もしており、こちらも好評です。

「以外と本がある」という声が多いよ

大分県中が ひっくり返るような舞台を……

「星生山の星太郎」結団式



最後は、参加者全員の「ミュージカルらしく」リズム感のある三本締め。

大分グランシアタ公演を直前にひかえた9月14日、「星生山の星太郎」結団式が九重文化センターで行われました。練習が山場を迎えたこの時期、心をひとつにしていこうと急速取り組まれたもので、坂本町長をはじめ、この作品の原作・台本・総監修の中沢とおるさん、演出の清末典子さん、そしてキャスト・スタッフ合わせて約70名が参加。大会成功へ向けて気勢をあげました。

中沢とおるさんは「今回の作品はミュージカルらしいスマートさと現代感覚がある。いい舞台ができるのは間違いない。素人でもこ

こまで出来るのか、と驚かせてほしい。大分県中がひっくり返るような舞台を」と激励しました。また、キャスト・スタッフを代表し、井上東介さん（北恵良2）は「日常生活をしていく上で、文化活動はなかなか理解してもらえないものだが、町などのバックアップがあってここまで来られた。みなさんの期待に応えられるよう、素晴らしい舞台にしたい」と決意を述べました。

速報

10月5日「星生山の星太郎」公演が行われ、大成功。大分県中がひっくり返りました。詳細は11月号で

天神に生中継

ふるさと祭りの模様を、福岡市天神ソラリアプラザにある大型スクリーンで生中継されます。インターネットの技術を使ったもので、10月25日（土）午後1時から2時まで。福岡市に住んでいる家族や友だちに、ぜひ知らせてください！

9回目となる今年も、収穫の秋にふさわしい九重町独自の味覚や新鮮な農産物・佐世保からの海産物を多数用意しています。郷土芸能をはじめとした催し物も盛りだくさん。多数のご来場を心よりお待ちしております。

期 日：10月25日（土）・26日（日）

25日は10時から、26日は9時30分から。

小雨決行

場 所：九重活きいきランド一帯（九重町役場庁舎周辺）

駐車場：JA玖珠九重・九重支店臨時駐車場に駐車してください。（当日は駐車場と会場を往復するシャトルバスを臨時運行しますので、そちらをご利用下さい。）

もうすぐ 九重ふるさと祭り！

●多目的グラウンド（ステージ上）での催し物

・郷土芸能・文化芸能・佐世保芸能

・カラオケ大会

・GGバンドによる演奏

・三代沙也可 歌謡ショー

・ヒットバラードバンド（ヒットバレーダース）ショー

・宣哲兵 ものまねライブ



●多目的グラウンドでの催し物

・地元でとれた新鮮な農産物や特産品・佐世保市からの海産物の販売・地元豊後牛の焼肉コーナーなどの各種バザーコーナー

●その他の催し物

・絵画や書道、生け花や彫刻等の文化作品展示

・写真展、絵画展、菊花展、花と器展

・親子木工教室



九重町図書館は1回に5冊まで借りることができます。期間は本の場合、2週間（ビデオは1回2巻まで・1週間）。必ず守りましょう。



うですが、もしない場合でも大丈夫。リクエストがあれば、大分県立図書館から取り寄せることができます。直接、県立図書館で借りた本（10冊まで借りることができません）を九重町図書館で返すこともできます。

このように利用しやすい環境作りをすすめていく一方で、情報ステーションとしての役割も充実しています。

館内にはコンピュータがあり、ここでインターネットができ、新聞も四紙（大分合同・西日本・日本経済・毎日）見ることが出来ます。

法定協移行に向け最終確認

玖珠郡任意合併協議会

9/16



第9回玖珠郡任意合併協議会
が9月16日、大分県中西部農業
共済組合会議室で行われ、法定
協議会への移行が確認されまし
た。

会ではまず、同協議会会長で
ある小林公明玖珠町長のあいさ
つがありました。小林町長は合
併を巡る全国的な情勢などを紹
介、合併特例法失効後の国の方
針にもふれ、「地方自治は大き
な問題を抱えている。そのひと
つである合併問題に対する真摯
な検討をおねがしたい」と述

べました。

会議では法定協議会設置につ
いて再確認が行われました。

第8回の協議会（7月28日）で

平行線のままとなっていた「議
会へ提案を行う」法定協議会設
置議案に市制移行を盛り込むか
どうかについては、その後の

両町の協議で「市制移行」を盛
り込むことを九重町側が同意。

「平成17年3月31日までに2町

合併による新市をつくることを
前提に9月中に議会議決を得る
こととして法定協議会を設置す
る」とし、今回の会議への提案
となりました。

法定協議会委員の女性登用や

両町のパランス、法定協議会の

名称についての意見が出された

のみで、特に異論は出ず、先述

のとおり合意、会議は終了しま

した。

九重町は、玖珠町との法定協

議会（名称）玖珠郡合併協議会

へ移行するとともに、引き続き

広域的合併の可能性も探ること

になります。

9/19

法定協議会設置議案を可決

玖珠郡2町での合併に向

けた法定協議会設置議案が

9月19日の9月議会最終日

で可決しました。

「九重町と玖珠町の合併

による新市の建設に関する

基本的な計画の作成その他

合併に関する協議を行うた

め」とする設置議案は、追

加議案として提出され、こ

の案を巡り、賛成・反対両

者が討論を行いました。

反対の立場をとる意見と

しては「人口減など玖珠・

九重の体力が落ちていく。

合併は50年先を見据えてす

べき。2町合併ではもたな

い。とりあえずの合併でな

く、半世紀を見据えた合併

を」や「道州制導入など」

国の状況も変わっている。

じっくり検討して良いので

はないか」、さらには「今

回の合併論議は自己決定・

自己責任・個性発揮の（地

方分権）理念を放棄したもの

ではないか。（国は）小

規模のものには能力はない

と地域の特性を無視してい

る。このまま中身のない空

虚な自治体を作っても分権

の受け皿にならない」とい

った意見が出されました。

一方、賛成の立場をとる

意見としては「9回行われ

た任意合併協議会などのプ

ロセスを踏みながら本町な

りのパターンを考えてきた

が、今は県のパターンを議

論する段階ではないか。む

しろ時期が遅い感さえある。

行政は勇み足でもいけない

し、遅れてもいけない」や

「単独で立派なまちづくり

が出来るところもあるが、

九重町は無理だと感じてい

る。合併して良いまちづく

りを期待したい」といった

意見が出されました。

結果は賛成9・反対5。

「進んでも大変、進まな

くても大変」。議会終了後

にある議員の洩らした言葉

です。また、傍聴者の一人

は「町は」苦しい状況と

思います。このように議

会で活発な意見が交わされ

るのは良いこと」と話して

いました。

なお、玖珠町でも同日に

法定協議会設置議案を可決、

全会一致でした。

※可決をめぐっての詳しい

ことは、今月の「議会だよ

り」5ページから載って

います。ぜひご覧ください。





未来をつくる

～玖珠郡合併協議会が発足

10/1



▲任意合併協議会に比べ委員もグンと増えます。

玖珠郡2町での合併を目指す玖珠郡合併協議会が10月1日に発足。同日に第1回の協議会が大分県中西部農業共済組合会議室で行われました。

会議は、協議会の会長に小林公明玖珠町長を、副会長に坂本和昭九重町長を選出し始まりました。

まず小林会長があいさつに立ち、これまでの経過を報告。「委員はそれぞれの町を代表して出ているが、玖珠郡一区から選出されたと考え、郡全体を見た活躍をお願いしたい。これが合併を1日でも早く達成する近道。(合併特例法期限の)平成17年3月31日まで残り1年数ヶ月。一般的に考えて、十分な協議期間がなく、期限内では完全な自治体ができないかもしれない



▲合併協議会の民間有識者のみなさん

いが、何回も議論を重ね、真剣に議論し、今後の協議会の運営に協力をお願いしたい。合併は半世紀に1回の事業。未来を作っているという心がけであたらなければならぬ」とあいさつしました。

協議会委員27名(うち民間有識者10名)の委嘱が行われた後、すでに議会で承認を受けている規約の内容確認、予算の協議が行われ、会議は終了しました。

「行政だけでなく、両町の住民同士でも協議をすすめる、一緒にいい「まち」を作っていくたいです」と玖珠町側の委員(民間)のひとり話していました。

合併に向けた民間での交流も活発になりそうです。

民間から5名の
委員を選出



玖珠郡合併協議会では27名の委員で協議を行っています。そのうち10名が民間の有識者です。両町で5名ずつが選出され、その委嘱式が10月1日行われました。

「昨日の夜は責任の重さを感じて寝られませんでした」。この言葉どおり委員のみなさんは、一様に緊張の面もちで委嘱状を受け取っていました。

10/1

最後の
任意合併協議会

第10回玖珠郡任意合併協議会が10月1日、大分県中西部農業共済組合会議室で行われました。法定協議会移行に伴い、今回が最後となります。開会にあたり、会長の小林公明玖珠町長はこれまでの経過を報告した上で、「任意協議会は」紆余曲折で時間がかかったが、この議論が次の法定協議会につながる」と信じている」とあいさつをしました。会議では議案に提出された法定協議会設置議案の可決状況などを報告。特に質疑はなく、15分程度で終了しました。





9月5日、福岡県大野城市の大野中学校1年生(176名)が九重町で農業体験をしました。農業を体験することで、「どういった過程で農作物が出来るかを学び、食べ物に感謝する気持ちを育てよう」と言うものです。農業体験を受け入れたのは九重グリーンツーリズム研究会。この日は13戸の農家が受け入れをしました。そのうち同研究会会長の安達通康さん(竜門)宅の梨園には22人の生徒が訪れました。この中で、農業体験をしたことがあるのはわずか一人。この日の作業は、夜蛾などの病害虫の被害にあった梨を落とす作業。数センチ程度の斑点があるものさえ出荷が出来ず、落とさなければなりません。今年は低温・長雨の影響などがあり被害が大きいそうです。出荷が出来ないと言っても、食べられるものばかりで、安達さんの「食べて良いよ」の声にさっそく生徒がかぶりつきます。「家で食べるものと比べて甘くておいしい」と作業そっちのけで歓声を上げます。中には一度に3個食べた生徒も。

「こうやって梨を毎日食べられるのなら、農業もイイかな」という女生徒もいました。

「農業は苦しいと言われていても、いろいろな可能性があります。交流(グリーンツーリズム)もそのひとつです。こ



の子たちが成人したり、結婚したりしてから訪れてくれれば、と楽しみにしています」と話す安達さんに、農業を通じて学んでもらいたいことを聞きました。

「テレビゲームなどのせいでしょうか、ゲーム感覚の事件がよく起こっています。子ども達には、人生はゲームのようにリセットできないんだというのを考えてもらいたいですね。暑い・つらい・きつい思いをするこの価値を感じてほしいです」。

安達さんは以前、東飯田中学校で農業について教えたことがあります。その時感じたのが、生徒の視線。学校の先生に投げかけるのとは違うものを感じたそうです。この「視線」を教育に入れていくことが大事ではないか、と安達さんは考えます。

「学校・親・地域が一体になった教育が必要ではないでしょうか。これまで“地域”という部分が抜け落ちていたような気がします」。

この日の作業時間は10時から3時まで。「みっちり、やりますよ」と笑顔の安達さんに果たして生徒がどこまでついていったか。安達さんと生徒たちのにぎやかな声が梨園の中に響いていました。

交流から生まれるもの

～各地で進む生産者と消費者の交流

グリーンコープ生協おおいと豊肥アグリ交流会が8月23日、九重町と玖珠町一帯でありました。

豊肥アグリは、九重町・玖珠町・小国町などの農家10戸(内2戸が新規就農者)で構成されており、「なるべく農業を使わず、有機肥料などを利用した環境にやさしい農業」を基本に、取り組みを行っています。今回の交流会は、消費者に実際に生産現場をみる機会を、と初めて計画されました。

「カタログだけを見てみると、商品と見がちですが、野菜は生き物で、生産者が虫などの被害と闘い、それを乗り越えながら作っているのだというのを実感してほしいです」とグリーンコープ生協おおいの青果・米委員長の大島夏子さんは話します。一方、九重町の生産者のひとは次のように話していました。

「今年みたいに長雨で生産現場は大変だという状況を消費者に見てもらふことなどを通じ、農産物は工業製品でないというのを直に感じてほしい。これは、グリーンコープと私たちに限らず、農業と消費者全般に言えることではないかと思えます。今、分業の中で生産者と消費者が切れています。これ



豊肥アグリのみなさん

を再構築する必要があると思います。私たちが消費者の顔を見、思いを聞きながらさらに生産に励みたい。今後農業を目指したい人もどんどん受け入れたいです」。

めざせ西日本一



ブルーベリーを利用した料理教室「創って食べて産地づくり」が、9月16日、玖珠町のメルサンホールで行われました。参加者は郡内の生産者や民宿経営者・関係機関など約50人。ブルーベリーを利用したものという、ジャムやお菓子を思い浮かべますが、この日のメニューは家庭で気軽に出来るフランス料理。「白ねぎとブルーベリーのキッシュ」・「豊後玖珠牛とブルーベリーの軽い煮込み」・「チーズとブルーベリーのタルト」の三品。キッシュとはパイ生地を用いた料理のことです。メニューを見ただけでは不釣り合いに見える材料。これを見事な料理に仕上げるのは、耶馬溪町のレストラン「楓乃木」のシェフ・樋口英幸さん。国内外の一流レストランで腕を振るってきた人です。

参加者は樋口さんの的確な指導とレシピ片手に料理に取り組んでいました。完成後は全員で試食会です。どの料理もブルーベリーの酸味を生かしたもので、「これまで経験したことのない、新しい味」と参加者のひとは話していました。



▲レシピ片手に

西日本一のブルーベリー産地づくりをめざした取り組みが続いています。

8月29日、生産農家をはじめとした約30人が参加し、ブルーベリー先進地視察研修会と加工研修会が行われました。

視察研修が行われたのは7月。6人が東京の大田市場視察や山梨で行われた産地シンポジウムへ、2人が東京都青梅市のベリーコテージ（ブルーベリーの加工品を販売する店。観光農園も併設）への研修を行いました。

この日は、前者の研修報告を佐藤昌弘さん（滝上）が、後者の研修報告を鷲頭洋子さん（無田中一）が行いました。研修参加者全員のレポートも公開され、全国的にブルーベリーが注目されていることに、みなさんは一様に驚かれたようです。

続けて行われたブルーベリー加工研修会ではジャムとジュース作りを行いました。

ジャムというコトコト煮込むイメージがありますが、実際は違うようです。スピードと的確な判断を求められます。例えば、砂糖は、あらかじめ決められた分量どおりでなく、味を見ながら加えていきます。また、かき混ぜすぎずに粒を残すのもコツ。「簡単だけど、奥が深い」世界です。



ブルーベリーに砂糖・蜂蜜・少量の水を加え、ミキサーにかけたジュースは濃厚で滋養豊かです。



有害鳥獣捕獲班員腕章・帽子交付式



イノシシやカラスなどの有害鳥獣の捕獲を行う「九重町有害鳥獣捕獲班」の腕章と帽子の交付式が9月12日、役場で行われました。今回の交付は、「駆除班」から「捕獲班」への名称変更に伴うものです。町内の捕獲班は全部で48名。そのうち役員など8名が式に参加しました。捕獲班は、一斉捕獲事業などを通して、有害鳥獣の捕獲を行っています。有害鳥獣の捕獲などについては、役場農林課（☎761-3804）まで。

このえ 農業委員会 だより 7号

8月6日に玖珠九重
合同で支部総会が開催
されました。

平成11年度に発表さ
れた食料・基本計画で、
農業委員会の役割とし
て「優良農地の確保及
びその有効利用」、「担
い手の育成及び確保」
が位置づけられていま

すが、厳しい農業事情の中、一層の推進が求められて
いることから、次のことに取り組むことが話し合
われました。

1、構造政策の推進

- ア 認定農業者等自立経営農家の育成
- イ 農地の管理体制の強化と利用権設定の促進
- ウ 集落営農と農地高度利用の推進
- エ 農業委員研修

2、農業担い手対策

- ア 農業後継者の育成
- イ 「くす・ドリーム・ウエディングセンター」
を通じた交流促進

玖珠九重の農業委員会が主体的な活動を展開す
ることを確認していました。また、農業委員全員
がブライダル・アドバイザーとして農業後継者の
結婚問題にも取り組んでいくことになりました。

遊休農地パトロール

農業委員が4地区に分かれ、遊休農地のパトロ
ールを行いました。優良農地で耕作されていな
い農地を重点的にパトロールし、地区ごとに幹
旋や景観植物などの方法を考え取り組むこと
にしています。



滝上 佐藤 邦子 さん

シリーズ 農業だいすき

黒毛和牛22頭・水田70a・畑50a・牧草地
400aの経営をしています。今年度NOSA
中西部初代女性理事に選任され、がんばって
います。和牛については、共有放牧地で春から秋
まで放牧し、出産間近に引き込みますが、事故
や衛生面に気を配り、見回りは欠かせないそう
です。価格の低迷が意欲の減退にもつながり
ますが、子牛が元気で生まれたときは何とも
言えない喜びを感じるそうです。きれいな空
気、花咲く原野のこの地で、体にいいもの
を環境を壊さずに生産し、経営面で採算がと
れ、子どもや孫たちと楽しくできたとき、「農
業は最高だね」と言えると思うと話してくれ
ました。

建設産業常任委員と農業委員との話し合い

高倉 勲八（農業委員）

農業・農村・農業者に関係する数多くの問題
点について、町議会建設産業常任委員（大石
委員長）5名と、農業委員全員による意見交
換会が7月25日開催されました。

主な意見内容

- 1、農業者の高齢化に伴う後継者問題
- 2、遊休農地の有効利用方法について
- 3、耕作不在の農地のこれからをどうするか

農家のためQ&A

- 4、農産物関税引き下げでますます激しくなる農
業経営のこれからについて
- 5、ブルーベリー特産化を進める中で特色ある栽
培・加工・販売をどう進めるか
- 6、町村合併による農業委員会のあり方
その他多くの意見交換ができました。しかし問
題点が大きく、結論や解決はできませんでした
が、農業委員会では、九重町の農地を守り農業を
発展させるため、これからも行政やJAと話し合
いをもち、行動を通して取り組んでいきたいと考
えています。

Q1 自分の農地に二百平方メートル未満の
農業用倉庫を建てたいのですが？

A1 転用届出書（農業施設用）に位置図及
び字図を添付して農業委員会に提出し
てください。地区農業委員が現地確認
を行います。

Q2 耕作目的で農地を盛土したいのですが？

A2 農地改良届に隣接農地所有者の同意を
とり、位置図・字図及び施工図を添付
して農業委員会に提出してください。
地区農業委員が現地確認を行います。

農業は今、各地の動きを知り、新しい情報
を得て取り組むことが大切です。農業情報満
載の全国農業新聞をおすすめします。

購読希望者は農業委員会
または地区農業委員へ 電話 76-3805

もうすぐ冬。 今年もインフルエンザの季節がやってきます!

インフルエンザは普通の風邪とは違います。



普通の風邪ならくしゃみ・鼻水・咳・のどの痛みなどが症状として現れ、やがて軽い発熱や倦怠感が見られ、1週間ぐらいで治ります。

一方のインフルエンザは、のどの痛みなど風邪の症状は大したことないのに、いきなり高い熱が出て、頭痛・関節痛などが現れると共に強い全身倦怠感に襲われます。こうなると、インフルエンザの可能性が高いです。特に65歳以上のお年寄りや慢性の呼吸器系疾患や心臓病・腎不全・糖尿病などの持病がある人は、肺炎の合併症が起こる危険があるため、早めに受診することが大切です。

インフルエンザにかからないためには?

① 予防接種（ワクチン）

予防接種を受けるのが一番確実です。特に65歳以上のお年寄りや持病のある人は感染すると重症化しやすいので、流行する前に接種を受けましょう。

② ウィルス避ける

インフルエンザの原因・ウィルスをさけるため次のようなことに注意しましょう。

- ・流行時にはできるだけ人混みを避ける。
- ・多くの人が集まり、閉鎖された場所は避ける。
- ・マスクをする。かかったら人にうつさないようにマスクをするのはエチケット。

③ 手洗いをする

手などを通じてウィルスが感染することが多いので、こまめに手を洗う習慣を付けましょう。

④ あたたかくする

寒くなると、血液の循環が悪くなり、身体の抵抗力が弱まります。温かい食事をとったり、外出時は暖かい服装を心がけましょう（ただし、厚着のしすぎは逆効果）。

⑤ うがいをする

うがいをするとのどが清潔になり、ウィルスがとりつきにくくなる効果があります。外出から戻ったときはうがいをする習慣をつけましょう。



高齢者のインフルエンザの予防接種

対象者 ①65歳以上の人

②60歳以上65歳未満の人であって、心臓・腎臓・呼吸器等の障害を有する人（かかりつけの医師にご相談ください）。

接種期間 平成15年10月20日～12月26日

接種回数 1回

接種費用 1,000円（個人負担）

接種場所 玖珠郡内医療機関

お問い合わせは保健センター
☎76-3838 まで

はなしなしが無料歯科健診のご案内

日時 平成15年11月7日（金）・8日（土）の歯科医院の診療時間内

場所 県内の無料歯科健診ポスターを掲示している歯科医院
2日間に限り無料で歯科健診を実施します。
受診者には健診結果を記載した「歯の健康パスポートと記念品」をお渡しします。

盲導犬の給付について

重度視覚障害者に対して盲導犬を無償で給付しています（年間2頭）

問い合わせは大分盲導犬協会
（大分市高城西町2-4）まで
☎097-558-0903



更生医療制度について

《目的》 更生医療制度の目的は、疾病・負傷等そのものを治療するものではなく、一般医療によってすでに治癒（欠損治癒、変形治癒等の不完全治癒）した障害者の方に対し障害の除去・軽減を図り、日常生活能力または職業能力を回復しもしくは獲得してもらうことです。

《対象者》 更生医療を受けられる対象者は、身体障害者手帳の交付を受けた満18歳以上の方です。ただし、手帳の内容と整合性がなければなりません。

※ 18歳未満の児童の方は「育成医療」の適用があります。

《更生医療の範囲》

- (1) 医療の対象は、疾病ではなく障害であり、その障害の範囲は身体障害者障害程度等級表というものに示されています。
- (2) 更生医療には、薬剤又は治療材料の支給・施術（マッサージのみ）・移送・訪問介護が含まれます。
- (3) 入院時食事療養費についても、更生医療の給付対象となります。
- (4) 健康保険が適用されない医療には、更生医療の適用がありません。

例：心臓手術等に伴う保険適用されない薬品等

《更生医療の具体例》

- 視覚障害 ⇒ 角膜移植術・網膜剥離手術等
- 聴覚障害 ⇒ 人工内耳埋込術等
- 肢体不自由 ⇒ 人工関節置換術・理学療法・作業療法等
- 心臓機能障害 ⇒ 心疾患に対する手術及びこれに伴う医療（限定）
- 腎臓機能障害 ⇒ 人工透析療法・腎移植及びこれに伴う医療（限定）
- 小腸機能障害 ⇒ 中心静脈栄養法
- 免疫機能障害 ⇒ 抗HIV療法・免疫調節療法等HIV感染に対する医療（限定）

補装具の交付について

身体障害者の方の失われた部位、障害のある部分を補って必要な身体機能を獲得し、あるいは補うために用いられる用具（補装具）の交付及び修理を行います。

《補装具の種類》

- 視覚障害者用 ⇒ 盲人安全つえ・義眼・眼鏡・点字器
- 聴覚障害者用 ⇒ 補聴器
- 音声、言語機能障害者用 ⇒ 人工喉頭
- 肢体不自由者用 ⇒ (主に) 義肢・装具・車椅子・電動車椅子・歩行器・尿管器・歩行補助つえ・頭部保護帽・座位保持装置
- 内部障害者用 ⇒ ストマ用装具

《受給手続》

補装具の交付を受けるためには、市町村に所定の申請書を提出し、補装具交付（修理）券の交付を受け、市町村が委託した業者から交付又は修理を受けなければなりません。

《費用負担》

- 1 医療保険の給付又は他の公費負担制度の適用がある場合は、その残額（本人負担分）を給付の対象とします。
- 2 本人又は扶養義務者は、一定以上の所得がある場合には、所得に応じ費用の一部又は全部を負担しなければなりません。

☆ 母子家庭のみなさんへお知らせ ☆

☆バスハイクのお知らせが22ページにあります。

母子家庭の就労について考える会

公的な制度を上手に利用し、現に就労・自立されている身近な方の体験発表を聞いたり、同じ立場の人と情報交換することで、あなたの生活向上の一助となればと思います。また、あなたがまだ知らない公的制度があるかもしれません。ぜひお越しください。当日は、保育士を配置しますので、小さいお子様連れでも参加できます。

- 《日時》 日田会場 11月11日 (火) 18:30~20:30
九重会場 11月13日 (木) 18:30~20:30
玖珠会場 11月6日 (木) 18:30~20:30

- 《実施会場》 日田会場 日田市中央公民館
九重会場 九重町保健福祉センター
玖珠会場 くすまちメルサンホール

《申込方法》

電話またはFAXで日田福祉事務所まで申し込んでください。なお、その際参加者の住所・氏名・年齢・電話番号・参加希望会場・保育室利用希望の有無をお知らせください。

《申込締め切り》

- 日田・九重会場
平成15年10月30日(木)
玖珠会場
平成15年10月27日(月)

《参加料》

無料（ただし、会場までの交通費は自己負担）

《申込先》

- 大分県日田福祉事務所
(〒877-0004 日田市城町1-1-10)
TEL 0973-23-2215 FAX 0973-23-9977
担当：福祉課 幸 (ゆき)

いつまでも お元気で

敬老の日に合わせ、陸上自衛隊玖珠駐屯地の陸曹（階級のひとつ）で作る曹友会による亀鶴苑への慰問が、9月15日行われました。これは、10年ほど前から行われているもので、今年も曹友会のみなさん4人とその子ども5人による花束と梨などのプレゼントがありました。

同会会長の白井啓司さんは「みなさんのうれしい笑顔が何よりです」。

入所者も思いがけないプレゼントに大喜び。一年をとつても花をもらうのはうれしいです。今日はとってもいい気分させてもらいました」と入所者のひとり（女性）は話していました。



九重町の最高齢者・佐藤タカさん

105歳の しつかりした手



よく働いてきたタカさんの手を取り、町長は「佐藤さんの手はしつかりしている」

9月12日、敬老月間に合わせ、坂本町長が町内の最高齢者・佐藤タカさん（陣の内上）にお祝いの品を届けました。今年には家族の希望でパジャマをプレゼント。佐藤さんが生まれたのは明治31年。今年で百五歳になります。県内の女性長寿番付では第5位。こうして自宅で生活されているのはめずらしいようです。

佐藤さんは今年3月頃から寝たきりになっていますが、病気知らずで、意志疎通もしつかりとしています。自分から話すことはなくなりましたが、話しかければしつかりとした答えが返ってきます。この日も町長の「まだまだ長生きしてください」の呼びかけに「はい。ありがたいです」。

家族によると、タカさんは若い頃からよく働き、よく食べていたそうです。それが長寿の秘訣ではないだろうか、と話していました。

これからは 人生を楽しみましょう！ 一人暮らし高齢者の集い



保育園児から運動会への招待状が



敬老月間にあわせ、一人暮らし高齢者の集いが今年も各地区で行われました。この集いは民生児童委員が中心に行っているもので、20年以上続いている行事です。

東飯田地区では、9月18日に松岡公園横の下且養心倶楽部で行われました。この地区では、87名の一人暮らし高齢者があり、（病院入院等を含めると約百名）、そのうち43名が集いに参加しました。

まずは、木の芽保育園の4・5歳児10名が登場。運動会に向けて練習中の踊り4曲が披露されました。続けて行われた開会行事で、老人クラブ連合会会長の諏山久さんは「少子高齢化と言われますが、高齢者が増えたことは喜ばしいこと。あわててパトナツチをせすに、これからは健康で長生きし、人生を楽しみましょう」とあいさつしました。集いではくじ引きなども行われ、にぎやかなひとときを過ごしました。

悲しい歴史を 繰り返さないように……。

戦没者追悼式

戦没者追悼式が9月13日、九重文化センターで行われ、五百三十五柱の霊を慰めました。坂本町長は「戦争が終わり、58年の月日が過ぎたが、遺族の悲しみは忘れられるものではない。戦場に倒れた人たちの願いは、祖国日本の繁栄と残された人たちの幸せだったはず。今日の繁栄を守っていく責務が私たちにあるのではないか」と追悼の言葉を述べ、遺族に対する支援、そして戦争を二度と繰り返さないことを誓いました。

追悼式では来賓のあいさつなどがあつた後、参加者全員による献花が行われました。

戦争で身内を3人亡くしたという女性（69歳）は次のように話していました。

「戦争の頃は、小学生で何もわからなかったですが、時が経つにつれ、悲しみがつのります。子どもを失った母たちはどんな気持ちだったんだろうと思うと、涙が出てきます。二度と戦争はしてほしくありません」。



「ごみ」減らしにご協力を

玖珠清掃センターに家庭等から搬入される一般廃棄物（ごみ）は、年々増加の一途をたどっています。「ごみ」減らしは、一人ひとりの生活の工夫によってはじまります。

物を大切に使う 〈リデュース〉

- ・品物はできるだけ長く使いましょう。
- ・買い物は買い物袋（マイバック）を持って行きましょう。
- ・過剰包装をなくし、使い捨ての商品は選ばないようにしましょう。
- ・シャンプーや洗剤などはできるだけ詰め替えタイプを選びましょう。

物を繰り返し使う 〈リユース〉

- ・家電製品は修理してできるだけ長く使いましょう。
- ・ごみに出す前に別の用途に使えないか考えてみましょう。
- ・ウラが白の新聞チラシ等は手作りメモにしましょう。
- ・酒・ビール瓶は酒屋さんに返却しましょう。

再び資源として使う 〈リサイクル〉

- ・ごみは正しく分別しましょう。
- ・生ごみは、生ごみ処理容器（コンポスト）で堆肥にしましょう。
- ・新聞・雑誌・ダンボール・衣類は資源回収に出しましょう。

生ごみ処理器の購入補助について

家庭の生ごみを減らすため、生ごみ処理容器（コンポスト）を設置する家庭に補助金制度があります。

補助金は購入金額（消費税含む）の2分の1で、最高限度額は1個につき3,000円です。1世帯に2個まで補助があります。

補助金申請は、世帯主宛の購入領収書と印鑑持参、及び世帯主の振込み口座番号がわかるようにしておいでください。申込み締切は特にありません。

申込み先 住民課 環境保全係

浄化槽を設置しませんか 浄化槽設置に対して補助

浄化槽は、し尿と生活雑排水（台所・風呂・洗面所・洗濯の汚水）を衛生的に処理し、放流することにより、河川の汚濁防止など生活環境を保全します。

家庭用の浄化槽の設置に対して補助制度があります。

- 補助対象・金額
延床面積160㎡未満の住宅・・・5人槽 354,000円
160㎡以上の住宅・・・7人槽 411,000円
- 申込締切 平成15年11月20日
申込み先 住民課 環境保全係

浄化槽は定められた維持管理を

浄化槽は設置したままで保守点検・清掃をしないと汚物が浄化されずに河川に放流されることになり、環境汚染につながります。

- 保守点検は県の登録業者に
保守点検は、機械の点検・補修や消毒剤の補給などを定期的に行います。保守点検は大分県に登録された業者に委託をしてください。
- 清掃は町の許可業者に
浄化槽内に溜まった汚泥などを年1回以上抜き取るのが清掃です。清掃は九重町の許可を受けた業者に委託をしてください。
- 7条検査は県の指定検査機関に
浄化槽使用開始後6ヶ月を経過した日から2ヵ月以内に行い、浄化槽が適正に設置され、所定の機能を果たしているかどうか検査するもので、大分県の指定検査機関が行います。
- 11条検査は県の指定検査機関
毎年1回定期的に行い平常の保守点検・清掃が適切に行われているかどうか検査するもので、大分県の指定検査機関が行います。

お問合せ先 住民課 環境保全係

☎76-3801

家庭系パソコンの回収・リサイクルが始まりました

家庭の使用済みパソコンを資源として再利用するためにPCリサイクルが始まります。

パソコンが不要になったときは、購入したメーカーに申し込み、メーカーが責任を持って回収・再資源化をします。

廃棄物の削減・資源の有効活用の促進を目指す“PCリサイクル”。地球環境と調和したIT社会の実現のため、ご協力をお願いします。

対象機器

家庭から排出されるデスク
トップ本体・ディスプレイ
（ブラウン管式または液晶）・
ノートブックパソコン



住基ネット本格稼働



8月25日、住民基本台帳ネットワークが本格稼働を始めました。全国がコンピュータで結ばれ、他の市町村で住民票の写しが取れたり引っ越し手続が簡単になったり、と便利になりました。

今回の本格稼働で新しく登場したのが住民基本台帳カード。このカードを持つことで「より便利になった」機能を利用できます。また、写真付きとなるため、身分証明書代わりにもなります。

九重町でも同日からカードの発行を始めています。町第1号のカードを持つのは誰か、と待っていましたが、なかなか現れません。午後2時頃ようやく第1号のお客さんが、北区の宇佐十四秋さん(写真)です。「テレビを見ていたら、受付を始めたということなので来てみました。年齢的に、そんなに必要ないのかもしれませんが、好奇心で」と宇佐さん。町第1号と聞いてびっくりの様子。

「もっと関心を持つと良いと思いますよ。住民票は基本だ

から、このカードは、身分証明書として大変良いと思います。写真もついていますから、運転免許証などを持っていない高齢の人には特におすすめします」。

住民基本台帳ネットワークは、日本中をコンピュータで結ぶため、情報漏れがあるのではないかと心配する声があります。「その点に関しては特に心配はしていません。もちろん、プライバシーをきちんと守ってもらえるよう万全の体制を整えてもらいたいです」。

カード発行は500円。手続は5分もかからず簡単です。写真撮影もその時行います。ただし、カードができあがるまでには2週間程度かかります。(住民課 ☎76-3801)

*後日、宇佐さんにお会いし、次のようなコメントをいただきました。「さっそく、銀行でお金を引き出す時に身分証明書代わりに役立ちました」。

10月8日現在、九重町でこのカードを作ったのは7人です。



▲カード用の写真の写り具合をチェック

大分県政について話そう!

県政出前講座スタート

県では本年度から、県民のみなさんの会合等に、県の幹部職員が出向いて、県の重点事業等の説明と意見交換を行う「県政出前講座」を実施します。

この講座は、あらかじめ県が設定したテーマの中から、みなさんが希望するテーマを選んで、県に申し込むことにより、みなさんの会合等に県の幹部職員が出向いて、テーマの説明と意見交換を行うものです。

このことで県政運営等について理解と協力をいただくとともに、県民のみなさんと県のコミュニケーションを図ることを目的とします。

申し込みの条件は、県内の団体等が主催する会合等で20人以上の参加者が見込まれ、この事業の目的の実現が可能なもの。

なお、講師料等は無料ですが、会場の準備や参加者の募集等開催にかかる事務・経費負担は申し込みされる団体等が行うことになります。

詳しくは、大分県企画文化広報広聴課広聴係(☎097-532-3200)までお問い合わせください。

エコメンバーの集い

エコメンバーの集いが9月5日、玖珠九重地方振興局で行われました。

エコメンバーとは、ハガキなどを通じてや知事と直接対話することで県政への提言を行うもので、玖珠郡管内では12人(両町で6名ずつ)が選ばれています。

この日の集いは12人のうち、7人が出席。各部局から事業概要などの説明があった後意見交換に入りました。「地産地消をすすめるため、もっと地元産野菜を大型スーパーにおくようにしてほしい」や「む



やみに看板を立てるよりも、もっと実になることにお金をかけた方がいいのでは」といった意見が出ていました。



1119番 地震発生時の 出火防止



最近、世界各地及び日本においても地震による災害が発生しています。

地震による災害発生時には、種々の要因が重なり火災が同時多発し、大火となり、人的物的に大きな被害をもたらすおそれがあります。

また、火災が発生しても道路・橋梁破壊等により消防車や救急車が現場に到着できないことも予測されます。地震火災には十分注意しましょう。

火気等の始末が大切

地震が起きたときは身の安全を確保することが最も大切ですが、火の始末・電源の遮断等を行うことも大切です。地震の揺れが小さく、行動できる程度の状況になったら直ちに火等の始末をしましょう。

地震により停電した場合は、ブレーカーを切り、電気が復旧した際には、電気器具の安全を十分に確認してからブレーカーを入れるようにしましょう。



大分県立玖珠農業高等学校

▲生徒海外農業派遣研修 (台湾)

本校は 『地域に根差し、開かれた、信頼される学校』

『生徒ひとりひとりの可能性を伸ばす学校』

を目指しています。

1. 学習内容および学科構成

本校では、ゆとりと充実した学習環境の中、普通教科の学習に加え植物の栽培・動物の飼育、家庭・看護福祉、食品の分析・加工、庭園や農業関係施設の設計・施工について学習することができます。九重町が西日本一の産地育成を目指すブルーベリーの栽培・加工技術の研究や、JR各駅のボランティア清掃活動など地元への貢献を重視した学習活動を展開しています。

設置学科…『生物生産科』『食品化学科』『造園土木科』

年次より様々な取組みを実施しています。中でも、保護者の要望に応え、県下職業系高校では初の取組みとして「土曜講座」を開設し、資格取得・就職指導・進学指導の充実を目指します。

◎ 海外派遣研修「玖珠農高アグリ」

本校卒業後、地元の農業を中心とした産業の振興に寄与するためのグローバルな視野を身につけさせるため、昨年度より同窓会補助による生徒海外派遣研修「玖珠農高アグリ」を開始しました。この事業には、九重・玖珠両町の海外研修補助事業による補助もいただき、昨年度は8名の生徒が中華民国での5泊6日の研修に参加しました。

2. 特色づくりに向けて

◎ 進路対策

本校は、“進路保障が3年間の教育活動の集大成”との観点から、「自分探しの進路プランニング」と題して、1



←土曜日講座



▶ブルーベリー見本園

3. 本年度(平成15年度)の主な生徒の活動状況

◎ 部活動

県強化指定校のホッケー部を中心に、ラグビー部・バレー部等毎日熱心に活動しています。また、本年度からは地域の要望にも応えて弓道同好会を発足し、多くの生徒が毎日の練習に汗を流しています。

◎ 農業クラブ

全国の農業高校を対象として、研究発表・意見発表・パソコン・実物鑑定・測量などの競技を各県・地区・全国で実施し、各高校の学習内容とその習得状況を競い合います。本校は本年も県大会において、県下農業高校中最多の入賞を果たし、沖縄県での九州大会、秋田県での全国大会に多数の生徒が臨みます。

◎ ボランティア活動

本校近年のもうひとつの顔となっているのがボランティア活動です。ボランティア同好会を中心に日本童話祭に38名が参加するなど、4月から現在まで延べ120名の生徒が地元での各種活動に積極的に参加しています。



春よ来い九重 結婚大作戦・男性参加者募集!

平成13年11月、「春よ来い九重結婚大作戦」が行われました。その時は16組のカップルが誕生し、4組が結婚しました。

今回は、その第2弾です。県内・福岡方面を中心に続々女性がエントリー。

ただ今、町内独身男性の参加を募集中です。

日時：平成15年11月15日(土)～16日(日)

内容：ふれあいパーティー・回転お見合いなど

参加料：無料

応募先：企画調整課 (☎76-3807)

担当/進(すすむ) & 生田

ホームページアドレス：

<http://www.townkokonoe.oita.jp/>

E-mail kkaku@townkokonoe.oita.jp

まちの話 題

花の祭典を飯田で



8月29日には、WAF Aの運営を担当している(財)日本フラワーデザイナー協会のみなさんが町長を訪問しました。

世界中のフラワーアレンジャーの集まりであるWAF A (World Association of Flower Arrangers) による研修が11月9日午後1時頃から4時まで、飯田高原・長者原で行われるようになりました。18カ国から80名が参加、フラワーアレンジの腕を競うことになっています。

WAF Aには29カ国が加盟。フローラルアートについての情報交換を行うとともに、世界競技会のためのルール作りなども行っています。3年に1回、国際競技会と国際会議を開催することになっており、二〇〇五年には、ワールドフラワーショーを行うことになっています。

今回の研修は、ワールドフラワーショー成功に向けてのものと位置づけられており、審査基準の確認と、世界中の人に日本の自然・文化のすばらしさを知ってもらうため開催されます。ちようと紅葉が美しい時期です。世界中のみなさんに九重の自然のすばらしさを紹介できそうです。

まちの話 題

ただ今躍進中～このえ柔道クラブ



8月27日には町長と教育長に報告をしました。町長は「練習の成果が出たと思います。これからも練習を重ねて団体・個人とも優勝を目指してください」と激励しました。このえ柔道クラブは現在34名。週3回の練習を行っています。

賞状が7枚、メダルが5つ、トロフィーが1つ……。8月24日、三重町営体育館で第22回大分県少年柔道三重大会が行われました。青少年の心身の健全育成と少年柔道の普及発展を目指すもので、県内から団体18チーム・約二百六十名が参加しました。

この大会で、このえ柔道クラブが団体3位を獲得したほか、個人部門では小学6年の部で穴井智大君(栗原)、5年の部では時松優君(小久保)が優勝、武石大雅君(甘川水)が3位。さらには2年の部で麻生大地君(奥野3)、3年の部で甲斐大樹君(竜門)がそれぞれ3位獲得と、このえ柔道クラブが団体・個人とも大活躍しました。

追記：穴井智大君が大分県柔道連盟の強化選手に選ばれました。

家族のしあわせを守るために



穴井夕子さんと協議会のみなさんによる交通安全宣言

玖珠郡女性ドライバー協議会による「トーク&シネマ」が9月20日、くすまちメルサンホールで行われました。郡内で女性ドライバーによる交通違反・事故が多発しており、あらためて交通安全の大切さを認識し、家庭から、地域から交通事故をなくしていこうと計画されたこのイベント、トークショーでは玖珠町出身のタ

レント穴井夕子さんが登場。この日、穴井さんが玖珠警察署の一日署長の任命を受けたことから実現したもので、デビューまでのことやタレント活動などについての話がされました。めげることなく、物事にぶつかっていけば、必ずいい結果が出る。そんな穴井さんの前向きな姿勢が強く印象に残りました。続けて映画「阿弥陀堂だより」が上映されました。



▲「髪は塚船で切っています」と穴井夕子さん

平成15年町内地区別事故発生状況(累計、県地)

地区別	人身事故		物損事故	件数計
	死者	負傷者		
東飯田	0	20	9	47
野上	0	17	11	42
飯田	2	24	12	139
南山田	0	14	10	40
計	2	75	42	268

(平成15年9月末現在)

くらしの情報

木と暮らしのフェア2003

日時 11月2日(日) 10:30~16:00
3日(祝) 10:00~15:30
場所 ビックアイ西口広場
内容 親子木工教室・しいたけと木材つかみ取り他
問い合わせ 木と暮らしのフェア実行委員会事務局
(TEL 097-532-7151)

麻薬・覚せい剤はダメ。ゼッタイ。

11月30日まで「麻薬・覚せい剤乱用防止運動月間」です。麻薬・覚せい剤・大麻・シンナー等の乱用は乱用者個人の健康上の問題にとどまらず、各種犯罪の誘因など公共の福祉に計り知れない危害をもたらします。みんなで薬物乱用を防止しましょう。

平成15年度 狩猟者登録について

日時・場所 11月4日(火) 午前9時~午後4時
玖珠九重地方振興局(玖珠町塚脇)
登録税・入猟税及び手数料が必要になります(種類によって違います)。
申請に必要な書類等詳細については、大分県玖珠九重地方振興局林業課(☎72-3111)まで。

思わぬ労災 予期せぬ失業 しっかりサポート労働保険

10月は労働保険適用促進月間です。
労働保険に未手続の事業主の方は至急加入手続をしてください。
詳しくは最寄りの労働基準監督署・公共職業安定所または大分労働局労働保険徴収室(☎097-536-7095)へ。

女性に対する暴力をなくす運動

11月12日~25日

夫・パートナーからの暴力で困っていませんか。ひとりで悩まず、相談が解決への第一歩です。

配偶者暴力相談支援センター

☎097-544-3900

受付時間

月~金 9:00~21:00

土・日・祝 13:00~21:00

*面接は月~金曜日 9:00~17:00



女性の権利110番

弁護士による女性の権利問題全般に関する電話相談を実施します。

日時 11月15日(土) 10:00~15:00

☎ 097-534-8874 相談は無料です。

全国一斉「女性の人権ホットライン」電話相談

日時 平成15年11月20日(木) 午前10時~午後3時

☎ 097-532-0164

相談内容 夫やパートナーからの暴力・職場のセクシャルハラスメント・ストーカーなどの人権問題

問い合わせ先 大分地方方法務局

(☎ 097-532-3161 内線36)

ホームページ

<http://www.jrken.go.jp/oita/oita-index.html>

法務局では平日8時30分から17時まで女性の人権ホットラインについて常時相談に応じています。お気軽に相談ください。

平成15年度防衛庁各種学生募集案内

募集種目 自衛隊生徒

応募資格 15歳以上17歳未満の男子

受付 11月4日~1月6日

1次試験日 1月10日

試験会場 日田市役所

詳しくは役場住民課又は大分地連玖珠連絡所

☎ 72-1116 内線371

ひた・くすふれあいバスハイク

日時 11月9日(日) 8:30~18:30

内容 北九州方面
(リバーウォーク・スペースワールド)
へのバスハイク

対象 ひとり親家庭(父子家庭・母子家庭)の親子
(30名程度・申込多数の場合は抽選)

申込方法 電話またはFAXで直接日田福祉事務所まで申し込んでください。その際には住所・氏名・年齢・電話番号・集合希望場所(日田総合庁舎もしくは玖珠総合庁舎)をお知らせください。

申込先 大分県日田福祉事務所

(TEL 0973-23-2215、FAX 0973-23-9977)

申込締切 10月24日(金)

*参加料は無料ですが、集合場所への交通費・スペースワールドのアトラクション代は自己負担です。

今月の納税・玖珠九重 農協旧支店収納窓口対応日

納付月

農協旧支店対応日

対応時間

10月

10月30日(木)・10月31日(金)

9:00~15:00

いきいきグリーンスランDAY

緑や公園を楽しむイベントです。苗木や花の無料配布。豪華賞品があたる大抽選会ほか。

日時 10月25日(土)午前9時～午後4時
会場 ハーモニーランド(日出町)
参加方法 特設受付で、大分県在住を確認できるもの(免許証など)を提示していただければ無料で入園できます。駐車料金別途必要。

問い合わせ先 大分県公園下水道課
 ☎ 097-536-1111 内線4665

ご存じですか…公証制度

～遺言書や契約書などは公正証書にしておくとお安心です～

公証人は各種契約や遺言などに関する公正証書を作成しています。公正証書は裁判などで強力な証拠となるばかりでなく、紛失や改ざんの心配がないなど、後日の紛争を防止する上で大きな役割を果たしています。公正証書遺言により、遺産相続に伴う親族間の紛争を防止することができます。

詳しくは次の公証人役場にお問い合わせください。
 なお、公証人役場では、無料で相談に応じています。

日田公証人役場
 (日田市田島2丁目1-20 第2光ビル201)
 ☎ 0973-24-6751

チャレンジ・ザ・ウォークinくじゅう

とき 平成15年11月2日(日)
ところ 九重少年自然の家
対象 子どもとその家族・グループ
内容 ウォークラリー
 経費についてはお問い合わせください(保険料100円+若干)。
 申し込みは10月29日(水)までに九重少年自然の家(☎79-3114)まで。

当座預金・普通預金・別段預金は平成17年3月末まで引き続き全額保護されます。

- * 定期預金等については、これまで同様、元本1,000万円までとその利息等が保護されます。それを超える部分は、破綻金融機関の財産の状況に応じて支払われます。
- * 平成17年4月以降は当座預金等の利息の付かない預金が全額保護されることとなります。
- * 預金保険制度・農漁協系統貯金保険制度ともに同様の取り扱いがなされます。
- * 詳しくは金融機関の窓口等にお問い合わせください。
 金融庁・預金保険機構

高校生のための就職面接会を開催します!

日時 平成15年11月13日(木) 13:30~16:00
場所 大分イベントホール(大分市南春日町12-5)
内容 平成16年3月新規高校卒業予定者と高卒予定者採用企業との就職面接会

お問い合わせ先
 ワークプラザおおいた (TEL 097-533-8600)

新規高卒就職者のための職業基本講座

職場のルールや人間関係などについて学ぼう!
開催場所 大分市コンパルホール(3回)
 ~11/9(日)・11/28(金)・12/14(日)
 日田市中央公民館(1回)~11/30(日)
 *他に別府市・中津市・佐伯市でも開催されます。

日程 各1日間(13:00~16:00)
申し込み・お問い合わせ
 (株)日本マンパワー九州支社
 TEL 0120-051896 FAX 092-483-2488

平成16年度畜産後継者養成研修・研修生を募集します

募集対象 将来、畜産経営を志す新規学卒者もしくは社会人経験者等
研修場所 大分県畜産試験場(久住町)
研修期間 平成16年4月から翌年3月までの1年間
募集定員 5名(性別不問)
願書受付期間 平成15年12月10日まで。選考は12月中旬、面接により行います。
研修経費 全寮制で自己負担不要
問い合わせ
 大分県畜産研修センター(☎0974-76-1216)または役場農林課(☎76-3804)まで。

創業塾

夢にチャレンジ!5日間の集中講座で開業ノウハウの修得を
日時 11月1日(土)・8日(土)・9日(日)・15日(土)・16日(日)
 午前10時~午後5時(初日のみ午前9時30分から)
場所 日出町商工会館
受講料 ひとり3,000円(5日間通し)
お問い合わせ・お申し込み
 大分県商工会連合会(☎097-534-9507)
 商工会連合会のホームページからも申し込みが出来ます。
<http://www.oita-shokokai.or.jp/>
申込締切 10月29日(水)

今月の年金相談

日時 10月22日(水)10:00~15:00
場所 九重町役場1階・102会議室

今月の納税

【国民健康保険税】
 【固定資産税】第3期
納期限10月31日

幸せになるひこうね



つてきた鷹が飛び込んでくるなり、その行者に向かつて「私は今、その鳩を食べないと死んでしまう。あなたは、鳩の命を救ったかもしれないが、私の命は救われなくてもいいのか。鳩を

ものはさつそく、片方の天秤皿の上に鳩をのせ、もう片方の天秤皿の上には切り取った自分の肉片を次々とのせていきます。ところが、切り取った自分の肉片をどれだけのせてみても、鳩ののつた天秤皿は下がったまままでピクリとも動かないのです。困った行者は、とうとうその天秤皿の上に全身をのせてしまいました。すると、今まで動かなかった天秤皿がゆっくりと動き出し、重量を示す針が中央までくるとヒタリと止まったのです。

「いのちは誰のものか」
 仏教では、「いのち」の尊厳性ということ伝えるために、逸話や物語という手法を使った独特の伝達表現があります。

後に「ジャータカ物語」として語り継がれてきた数多くの作品の中から、「シビ王の物語」を紹介します。

ある日、行者が大きな木の下で瞑想をしていると、そこへ鷹に追われた一羽の鳩が無い込んできて、「今、私は鷹に殺されようとしています。どうか助けてください」と行者に救いを求めます。哀れみを感じた行者は、その鳩を自分の衣の中に隠します。

そこへ、今度は必死で鳩を追

同和問題を通して

社会人権・同和教育指導員
高藤 英利

助けるということとは私を殺すことになるのだ」と、その鷹が問いつめるのです。

行者は悩んだ末、鷹に妥協案を出します。それは鳩の体重と同じ量の肉片を、自分の身体の一部を切り取ってあげるとい

つまり、鳩ののつた天秤皿と行者ののつた天秤皿が、ここで初めてバランスよく釣り合ったのです。これは、すべての生あるものの「いのち」は、全世界と同じ重さと尊さをもっていることを表しています。

そのような「いのち」を生きる存在であればこそ、私たちはそれぞれに違った個性を豊かに生かすことができるのではないかと思います。

＝平成15年10月・11月休日当番＝

病	月	日	医療機関名	住所	電話
院	10月	19日	小中病院	塚脇	72-2167
			飯田高原診療所	飯田	79-2138
	26日		後藤内科医院	昭和町	72-0676
			矢原医院	野上	77-6121
	11月	2日	高田病院	春日	72-2135
		3日	長内科小児科胃腸科医院	春日	72-2143
			麻生消化器科内科医院	山田	72-7100
		9日	三池循環器科内科医院	塚脇	72-6101
			友成(町田)医院	町田	78-8811
		16日	玖珠記念病院	塚脇	72-1127
		23日	井上医院	恵良	76-2711
			北山田クリニック	北山田	73-2030
	24日	友成(産婦人科)医院	塚脇	72-0330	
		武田医院	森	72-0170	

歯科	月	日	医療機関名	住所	電話
医	10月	19日	おおくら歯科医院	日田市	0973-22-0222
		26日	玉井歯科医院	恵良	76-2018
	11月	2日	アップル歯科医院	日田市	0973-24-7710
		3日	合原歯科医院	日田市	0973-22-5305
		9日	長尾歯科	玖珠町	72-7122
		16日	(日田)井上歯科医院	日田市	0973-22-3305
		23日	内川歯科医院	日田市	0973-22-0320
		24日	林田歯科医院	引治	78-8416

獣医	月	日	獣医師名	電話
医	10月	25日	佐藤 獣医	77-6448
	11月	2日・9日・22日		
	10月	19日	山本 獣医	78-9101
	11月	1日・8日・16日・24日		
	10月	26日	甲斐 獣医	76-3324
	11月	3日・15日・23日		

スタンド	月	日	店名	月	日	店名
ス	10月	19日	森石油	11月	9日	河野石油
		26日	小幡石油		16日	竹尾石油
	11月	2日	自由営業	23日		森石油

備考 大分県中西部農業共済組合 ☎3409
 休日当番の電話番号(携帯)は 090-5721-8191

★都合で変更する場合があります 玖珠消防署：●救急は119番 ☎72-2141 ●火災の確認は ☎72-5100

歳時記

季題

11月号

「晩秋」または「初冬」
であれば季語は自由
(10月24日締切)

12月号

「日向ぼ」短日(暮れ早し)「
賀状書く」
(11月25日締切)

今月の季題
「月」「花野」「柿」

後の月峽のホームは深眠り
月浮かぶ山の彼方の美しさ
満月や老いて思はず手を合わす
名月や竹が微ぎて見え隠れ
露天湯へ片道五分月の道
満月の松よりのぞく露天ぶろ
名月や寄り添う火星雲の間に
月光に影はつきりと庭木かな
遠い日に父母と草切り花野行く
野の花を生きて持て成す馬貞の忌
山柿の小粒の柿の赤きこと
裏年の葉がぐれの柿二つ三つ
洪柿の皮むく姿母の背
軒下に暖簾がわりのつるし柿
柿熟る、色夕映えて柿右衛門

「後の月峽のホームは深眠り」。後は後とも読む。一月後の豆名月は秋深く人も深眠り。「遠い日に父母と草切り花野行く」。秋の野は花野。花野で父母と草切りが夕づる。月は秋の季語。冬月、春月等、季が決まる場合は別として、月と秋の季語の重なりに留意。

選者 麻生 良昭

このコーナーは町民どなたでも応募できます。ハガキに作品名と住所、氏名、電話番号をお書きのうえ企画調整課広報係まで応募券を。なお、応募作品は返却しません。

- 小野 十三日
小野 ミツノ
岩尾 奈加
井上 マキ
清竹 勇蔵
藤澤 節子
湯浅加代子
田浦登志枝
穴井久美子
原田 勝子
甲斐 和子
玉井多喜子
赤峰 幸子
佐藤 修正
選者 吟

添削がありますのでご了承ください。 広報

このえ 時間旅行

ふるさと再発見 11?

わが家のお宝～宝八幡宮～

文化財調査員 甲斐素純

8月号で「我が家のお宝募集」と題して、我が家もしくは私のお宝を展示させていただきますとの募集がありました。お宝の展示期間は10月19日(日)から26日(日)で、九重文化センター内にある「九重歴史資料館」にて開催されます。さて、それではあなたのお宝は何ですかと言われれば、それこそ何をあげたらいいのか迷ってしまいます。迷うほど多くのお宝があるわけではないのですが、先祖から伝わったいくつかの物があります。そのひとつは、私の奉仕す

る宝八幡宮の創建とともに始まったとする、祠官の「家系図」です。本社・宇佐八幡宮の分霊を奉じてから約千三百年。神職を始めて私で三十七代目。神社と共に歩んできた甲斐家の歴史。

神社にも家にも、長い間には栄枯盛衰があります。かつて戦国時代末期の天正十四(一五八六)年、鹿児島島の島津軍が豊後を支配していた大友宗麟を攻撃するために北上、ここ玖珠郡にもその一軍六千人が駐留し、郡内の諸城を次々に攻略していきました。敵は民家や神社・仏閣・墓地など、手当たり次第に焼き討ちにし、また食料・物品(お宝)を略奪しました。その時、宝八幡宮と附属の神宮寺も焼かれ、境内の一切は廃墟と化しました。当社はそれ以降、ゼロからの出発でした。その時、各地に寄附を募った「勸進帳」が残されています。

神社はその時代時代を民衆と共に歩んできました。境内には社殿のみならず、歴史を刻んだ石燈や石碑・棟木などの文化財や郷土芸能(玖珠神楽・宝楽・町田楽など)が伝承されています。また「鎮守の森」は、田舎と言えど地域

で少なくなった広葉樹の森を形成し、多くの野鳥をはぐくんできました。境内には、クス・ケヤキなどの巨木が、ご神木・天然記念物として残されています。

神社はその地域の心の拠り所として、多くの人々を引きつけてきました。悠久の歴史の一コマとして、私は生かされています。それ故に我が家のお宝は、まさに「宝八幡宮」そのものです。境内そっくりそのままを九重文化センターに展示できないのが残念です。(ひとまず、ここに紙上展示をいたします。)



▶流れ造りの本殿と樹齢五〇〇年のイチイガシ(町指定天然記念物)
*イチイガシはブナ科の常緑高木、暖地産で高さ30メートルに達する。

人の動き

弔慰 お悔やみ申し上げます

おめでとうございます **出生**

おなまえ	年齢	行政区
吉光スガノ	97	桐木三
帆足正雄	80	井手下
梅木三来生	82	串野上
富田久子	91	中村上
永樂時寛	80	桐木二
宿利良廣	55	川上一
坂本キミ	93	書曲一
吉光茂弘	59	桐木四
財津スミ	89	川東上
佐藤喜美子	86	生竜

9月1日～9月30日届出分
(敬称略)

おなまえ	性別	保護者	行政区
竹友 瑞樹 <small>みづき</small>	男	直樹	中央一
工藤 菜和 <small>なは</small>	女	英祐	野矢
梅木 駿一 <small>しゅんいち</small>	男	比呂道	下旦二
橋本 楓 <small>かえで</small>	女	豪	粟野本村

人口と世帯

人口 11,871 人 (-16)
 男 5,675 人 (-8)
 女 6,196 人 (-8)
 世帯 3,886 (±0)
 () は前月との増減

訂正とお詫び
 広報9月号15ページ「再会できてウレシイ」
 記事中、「九重町身体障害者福祉協議会」とあり
 ますが、正しくは「九重町身体障害者福祉協
 会」です。訂正してお詫びします。

秋の企画展

我家(私)の宝物展

代々祖傳の宝物を展示。人生の思い出を振り返る。向・指傷情

平成15年 10月19日(日)～10月28日(日)
 9:00～17:00
 九重町歴史資料館

観光インフオメーション

来ちよくれ 見ちよくれ

- 10月17日～19日 鉾神社秋祭り
- 10月18日～20日 青山天満宮秋祭り
- 10月25日～26日 第9回九重ふるさと祭り
- 11月3日 第12回震動の滝紅葉祭り

九重町観光協会 (役場商工観光課内)
 ☎38866 FAX②2247
 九重ふるさと館観光案内所
 ☎55110 FAX②5511
 くじゅう飯田高原観光案内所
 ☎23381 FAX②23381

町長と語る ふれあいタイム

11月のお知らせ

11月 8日 (第2土曜日)
 11月 15日 (第4土曜日)

午前10時から午後4時まで。
 九重町役場で行います。
 お気軽においでください。

募集!

青年団に関する原稿・お話・資料など

青年団に関する特集を考えています。お力を貸してください。
 あなたにとって青年団とは?どしどしお寄せください。
 九重町役場企画調整課
 ★TEL.76-3807 FAX.76-2247
 ★E-mail:kikaku@town.kokonoe.oita.jp

編集後記

読書週間に合わせ、今月は本にまつわる話を集めてみました。最初に書いてあるとおり、「親は子どもが本を読んでいる姿を見ると感動するが、子どもにとって親の本を読んでいる姿がいかに誇らしいか」と、特集で登場したみなさんはきつと、子どもにとって誇らしい存在だろうか、とも思っています。素敵な方ばかりでした。自分自身も本は好きな方だと思いますが、片っぱしから読んだことを忘れてしまいます。そのわりにはどうでもいいようなことが頭に残ったりします。例えば、アメリカカのレストランでは食事を運んできたとき「エנגジヨイ」と言う、とか、読書も同じで、読んでためになるというより、「エングジヨイ」というものばかり読んでいるので、あまり成長がないようです。しかし、たまにはいい言葉に行き当たり、少しだけ進歩します。最近では「それでも人は奮闘する者に対するひそかな敬愛を持ち続けるものだ。壇一雄の言葉です。」

●一流のものを見たら聞いたりするのに時間と金を惜しむな」とはよく言われることです。メディアの発達により、田舎にいても一流のものにふれることは容易になっていきます。やはり本は王道だと思えます。図書館や本屋さんにはたくさん一流があります。さあ、本を手にとり、この編集後記を読んでわかるとおり、「読書オヤジ」になりつつある自分です。周りの人には羨ましい存在になっっているのでは、なので、この前読んだ本に書かれていた次の言葉に妙に思われます。「父親とは死んでから感謝されるもの。」

Kochi-T